

令和4年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和5年3月31日

学校法人本田学園
認定こども園 南部幼稚園

1. 本園の教育目標

- 明るく元気な子ども
- 正しい挨拶のできる子ども
- 自分から進んでやる子ども
- いつも優しく素直な子ども

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- 本園の教育保育理念・方針のもと、意欲的に活動に取り組み自主性を育てる。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	教職員の資質向上	A	・教職員が適切な時期に必要な研修に参加できるようズームを使った研修を積極的に受講した。
2	園内研修への取り組み	B	・保育者の保育技能の向上、専門知識の強化、自園の幼児教育・保育の質を高めるためにテーマを決め研修により職員個々の能力を上げようとする環境を整えていった。
3	安全管理体制の整備	A	・避難訓練を1ヶ月に1回実施し、火災・地震・不審者侵入の緊急時対応マニュアルに沿って、全職員が共通理解を持てるよう取り組んだ。 ・全教職員がセキュリティーに対する意識を高め、情報の共有を図った。
4	保護者との連携	B	・1学期に1回程度の個人面談日を設け、幼児の家庭や園での様子を連絡し合い、保護者の思いを共感的に受け止め、信頼関係を築けるようにした。 ・保育参観や行事などの参加やコドモンアプリでメール配信し、保護者との関わりを深め、本園の理念を理解していただくよう促した。
5	特別支援児への対応	A	・加配が必要な支援児には加配をつけて支援している。 ・支援が必要な幼児が通所している施設と担任が連携をとり、その子に合った指導を心掛けるよう配慮している。 ・支援が必要な幼児が通所している施設と連携を図る為、園訪問やズーム会議、保護者を含め担当者会議を行った。 ・年長組の支援児には、小学校へスムーズに移行できるよう教育委員会や進学先の小学校と密に連携をとった。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

4. 総合的な評価結果

A	5つの評価項目について重点的に取り組んだ結果、一人ひとりの幼児を大切にされた質の高い教育・保育をおおむね実践することができた。また、さらなる質の向上に向けた課題も明確になった。
---	--

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

5. 今後取り組む課題

	課 題	具体的な取り組み方法
1	地域や保護者のニーズやコロナの収束に合わせたカリキュラム等の再編成	年々かわる保護者のニーズに応えるとともにコロナの収束に於いてのカリキュラム編成の見直しや ICT 教材を利用して更に好奇心や探求心を培っていく。
2	環境	園庭や室内の環境について話し合い、更に遊びが充実するように全ての年齢ごとに環境の構成に取り組む。
3	役割分担の確立	キャリアアップと研修等による力量の向上や職務・職責に対しての役割を更に明確にする。

6. 学校関係者評価委員会の評価

- ・特に問題点はなく、幼児教育の発展・充実に向けた取り組みに対し、熱心に励んでいる。

7. 財務状況

- ・公認会計士監査により、適正に運営されていることを認められている。